

あめつち じつげつ こんぱく

天地は日月の魂魄なり。

ひと こんぱく じつげつにしん れいせい

人の魂魄は日月二神の靈性なり。

よしだかねとも しんどうたいい

吉田兼俱『神道大意』

てん たいよう ひ たいいん つき たましい
天は太陽(日)と太陰(月)の魂であり、大地は太陽(日)と太陰(月)の魄(血と骨と肉)である。

ひと たましい せいしん にっしん げっしん れい
人の魂(精神)は、日神と月神の靈がとけあつた天の、徳・法則を分け持っており、ひと はくにきたい にっしん げっしん せい まじ う だ だいち せいめいりよく せいさんりよく
人の魄(肉体)は、日神と月神の性が交わって生み出された大地の、生命力・生産力を分け持っている。

こころ たいよう つき いし やど
君たちの心には太陽や月の意志が宿っており、

からだ たいよう つき いらよく そな
君たちの体には太陽や月の威力が備わっている。

せんぞ しそん れんぞく せいめい なが うちゅう すいてん ひと しゅうこう てん
先祖から子孫へと連続する生命の流れと、宇宙の働きの翠点(一つに集合した点)が、君という存在なのです。

ひと ぐうぜん ひと ちえ ひつぜん いま
君たち一人一人は、とてつもない偶然か、人の知恵でははかれない必然によって、ここに在る。それがかけがえのない奇跡であるのはまちがいありません。

こころ そし うちゅう
そんな君たちが、心の底から望んでおり、喜ぶようなことは、宇宙そのものが望んでいることでもあり、喜ぶようなことでもあるのです。

きみじしん しんぞこ しぼう
見つけましょう。君自身の心底からの志望を。

それへ向けて、全力で生きましょう！